

市の財政は、皆さんの暮らしに必要な基本的な行政サービスを行う一般会計、特定の目的や収入を持つ特別会計、利用料金等の経営活動による収入で賄う企業会計の3本柱で構成されています。前年度に市長が収入と支出を見積もって予算案を作成し、3月の市議会で決定。1年間その予算に沿って事業を進め、最終的に予算がどう使われたかを整理したものが「決算」です。令和6年度決算の各会計の財政状況と、皆さんの大切な税金などがどのように活用されたかをお伝えします。

## ●特別会計の決算状況

特別会計は、特定の目的や収入がある事業ごとに収支を明確にするため、一般会計とは切り離して独立管理する会計です。国の制度で特別会計処理が定められているものも含まれます。

令和6年度は、8つの特別会計の合計で、歳入277億2,014万円、歳出272億5,864万円、歳入歳出差引額は4億6,150万円となりました。

| 会計名          | 歳入決算額       | 歳出決算額       |
|--------------|-------------|-------------|
| 土地取得         | 284万円       | 284万円       |
| 国民健康保険事業     | 119億2,168万円 | 118億9,711万円 |
| 文津土地区画整理事業   | 3億1,008万円   | 2億4,300万円   |
| 岩崎山前土地区画整理事業 | 5億9,074万円   | 4億3,992万円   |
| 小牧南土地区画整理事業  | 4億4,387万円   | 3億9,033万円   |
| 本庄土地区画整理事業   | 1億3,394万円   | 1億2,578万円   |
| 介護保険事業       | 97億9,529万円  | 96億5,652万円  |
| 後期高齢者医療      | 45億2,170万円  | 45億314万円    |
| 合計           | 277億2,014万円 | 272億5,864万円 |

令和6年度の一般会計および特別会計の歳入歳出差引額は、歳入総額940億9,968万円から歳出総額912億1,694万円を差し引き、**28億8,274万円**となりました。ここから翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた**実質収支額は、約19億4,700万円**となりました。

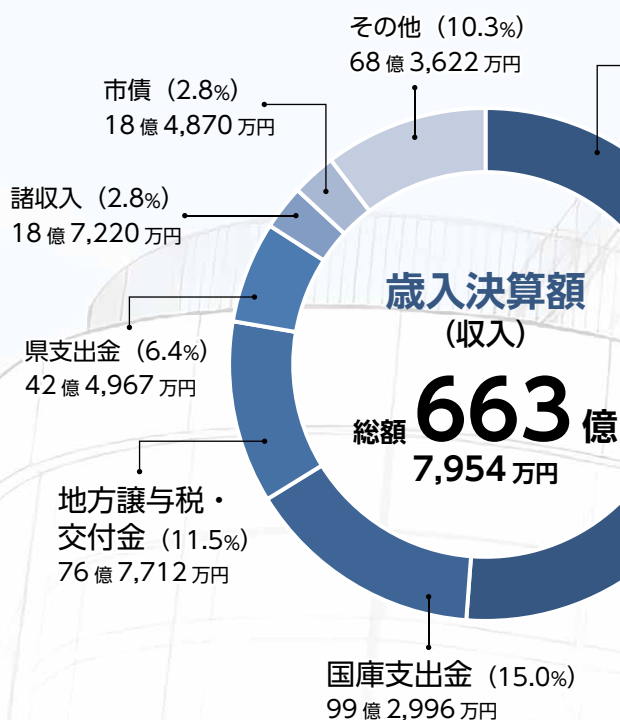
## ●企業会計の決算状況

企業会計は、利用者の料金などで運営する独立採算方式の会計です。決算は、当該年度の経営活動に伴う「収益的収支」と、施設整備・更新や借入金償還などの収支を表した「資本的収支」に分けて経理します。経営の赤字・黒字は、消費税等を除いた損益計算書で判断し、日々の経営状況と将来投資を切り分けて確認することで、財政の健全性評価に役立っています。

|                  | 病院事業<br>                               |             | 水道事業<br>                       |            | 下水道事業<br>                           |            |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
|                  | 収入                                                                                                                        | 支出          | 収入                                                                                                                | 支出         | 収入                                                                                                                       | 支出         |
| 収益的収支<br>(税込決算額) | 251億9,309万円                                                                                                               | 266億8,710万円 | 30億6,792万円                                                                                                        | 27億7,133万円 | 32億277万円                                                                                                                 | 31億2,485万円 |
| 収益的収支<br>(損益計算書) | 250億8,219万円                                                                                                               | 266億1,756万円 | 27億7,717万円                                                                                                        | 26億2,776万円 | 30億2,137万円                                                                                                               | 30億2,137万円 |
| 資本的収支<br>(税込決算額) | 13億869万円                                                                                                                  | 23億6,605万円  | 3億4,302万円                                                                                                         | 20億4,414万円 | 13億3,333万円                                                                                                               | 20億3,614万円 |
| 説明               | 病院事業では、新型コロナウイルス感染症に係る補助金の皆減および人件費、材料費の増大等により赤字決算となりました。今後も厳しい病院経営が続くことが見込まれるため、引き続き「小牧市民病院経営強化プラン」に基づき、経営の更なる健全化に努めています。 |             | 水道事業では、黒字決算となりましたが、今後も管路の耐震化など水道施設の更新に多額の費用が見込まれることから、令和元年度に策定した「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」に基づき財政基盤の強化、お客様サービスの向上に努めていきます。 |            | 下水道事業の損益計算書は、一般会計からの約3億8,000万円の補助により入出同額となりました。安定した事業運営のため令和7年10月に下水道使用料等を改定しましたが、今後も厳しい経営環境が見込まれるため、引き続き経営の健全化に努めていきます。 |            |

## ●一般会計の決算状況

福祉、子育て・教育、道路や公園の整備、防災、環境、文化・スポーツなど市の基本的な行政サービスの経費をまかなっている会計が「一般会計」です。皆さんの税金の多くがここで活用され、日々の安心と将来のまちづくりにつながっています。

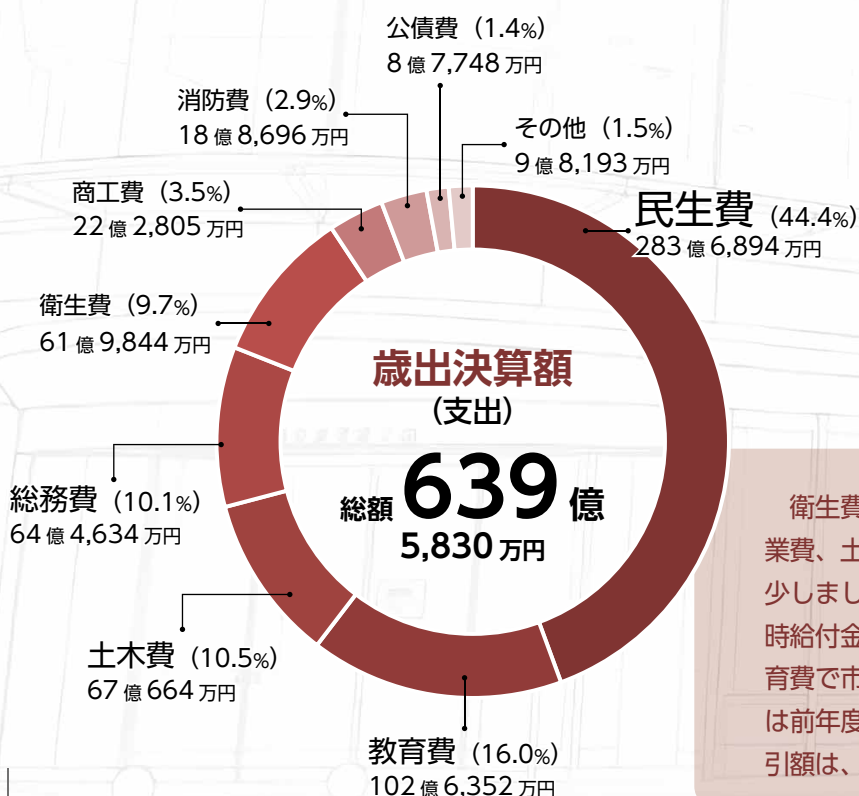


### 市税内訳

( ) 内は全体に対する構成比

- 固定資産税 (25.1%) 166億3,130万円
- 市民税 (20.7%) 137億2,604万円
- 都市計画税 (3.0%) 20億2,184万円
- 市たばこ税 (1.8%) 11億6,567万円
- 軽自動車税 (0.6%) 4億2,082万円

市税は増収となりました。定額減税の影響で個人市民税は減少した一方、企業収益の堅調な推移により法人市民税が増加したことなどが要因です。また、国庫支出金は減少しましたが、市債や地方特例交付金が増加し、歳入総額は前年度比5.6%増加しました。



### 歳出決算額を性質別に分類すると…

- 義務的経費 (47.1%) 301億2,198万円  
(扶助費／人件費／公債費)
- 投資的経費 (9.5%) 60億4,224万円  
(普通建設事業費)
- その他 (43.4%) 277億9,408万円  
(物件費／補助費等／繰出金 等)

衛生費で新型コロナウイルスワクチン予防接種事業費、土木費で下水道事業会計繰出金がそれぞれ減少しました。一方、民生費で総合経済対策に伴う臨時給付金支給事業費や教育・保育事業費が増加、教育費で市民会館施設整備事業費が増加し、歳出総額は前年度比7.8%増加しました。また、歳入歳出差引額は、24億2,124万円となりました。

前ページでは市の収入と支出の全体像を説明しました。このページでは、市の財政が国が示す基準で健全かどうかを確認するとともに、税金の使い道と市民の皆さんの生活にどう役立っているかを解説します。市の財政の現状と効果をわかりやすくお伝えします。

## ●各分野の主な事業を紹介

令和6年度の一般会計において実施した具体的な事業を、主な分野（歳出科目）別に紹介します。各分野それぞれで**決算金額の大きい事業 TOP 3**と、令和6年度に実施した事業で**特に注目の事業**をピックアップ。金額は令和6年度の決算額です。

### 総務費

64 億 4,634 万円

日々の行政サービスを支える“縁の下の力持ち”。防犯や公共交通の充実で、安全・便利なくらしを後押しします。

#### 注目事業



#### 通学路防犯カメラ増設事業 (925 万円)

さらなる見守り強化のため、既存台数 100 台から 200 台に増設

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 情報政策推進事業       | 6 億 3,801 万円 |
| 2. 公共交通政策事業       | 4 億 3,459 万円 |
| 3. 多世代交流プラザ施設管理事業 | 4 億 2,845 万円 |

### 衛生費

61 億 9,844 万円

健康づくりと生活衛生の土台づくり。健診・予防からごみ処理まで、毎日の安心を切れ目なく支えます。

#### 注目事業



#### 健康増進施設整備事業 (2,694 万円)

健康習慣化サポート施設「ヘルスラボ・こまき」を新たに整備

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 病院事業会計繰出金   | 15 億 4,923 万円 |
| 2. 小牧岩倉衛生組合負担金 | 13 億 4,871 万円 |
| 3. ごみ収集・再資源化事業 | 7 億 3,003 万円  |

### 土木費

67 億 664 万円

道路や公園など、暮らしの基盤をコツコツ整備。安心して歩ける、集える、住みやすいまちへ。

#### 注目事業



#### 文津区画整理事業区域内公園整備事業 (6,786 万円)

地域住民の憩いの場の確保と生活環境向上のため「宮前公園」を整備

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. 下水道事業会計繰出金      | 11 億 5,893 万円 |
| 2. 公園緑地施設管理事業      | 11 億 5,448 万円 |
| 3. 土地区画整理事業特別会計繰出金 | 7 億 7,924 万円  |

### 教育費

102 億 6,352 万円

こどもたちの学びと、市民の文化・スポーツ活動を応援。安全・快適な施設環境で、学びと交流を広げます。

#### 注目事業



#### 市民会館・市公民館施設整備事業 (14 億 471 万円)

昭和 46 年に建設され、老朽化が進む施設を大規模改修

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 市民会館管理事業     | 14 億 9,883 万円 |
| 2. 給食センター管理運営事業 | 12 億 7,543 万円 |
| 3. 体育施設管理事業     | 4 億 9,690 万円  |

### 民生費

283 億 6,894 万円

ライフステージに寄り添う支え合いのしくみ。子育て、障がい、高齢など、誰もが安心できる福祉を進めます。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 障害者自立支援等給付事業 | 56 億 5,587 万円 |
| 2. 教育・保育事業      | 25 億 5,884 万円 |
| 3. 児童手当支給事業     | 24 億 2,006 万円 |

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| ● 後期高齢者医療特別会計繰出金 | 18 億 2,669 万円 |
| ● 介護保険事業特別会計繰出金  | 14 億 4,510 万円 |

### 商工費

22 億 2,805 万円

地域の仕事とにぎわいを元気に。中小企業の挑戦や魅力発信を支え、まちの活力を高めます。

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. こまき応援寄附金推進事業      | 7 億 2,466 万円 |
| 2. 中小企業支援事業          | 4 億 6,023 万円 |
| 3. こまきプレミアム商品券発行助成事業 | 2 億 5,729 万円 |

### 消防費

18 億 8,696 万円

もしもの時に備える力を強く。人・装備・連携を整え、迅速で確かな消防・救急体制を保ちます。

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. 自動車購入事業        | 1 億 7,510 万円 |
| 2. 消防指令センター共同運用事業 | 1 億 4,947 万円 |
| 3. 消防施設管理事業       | 6,632 万円     |

# 市の財政状況を報告します (健全財政・各分野の主な事業)

問合せ 財政課 (☎ 76 - 1190)

## ●健全財政を維持しています



市の財政状態を表す指標はすべて国の基準をクリアしており、財政の規模に対する市債の借入状況を示す指標については県内第2位です。また、市債や基金についても計画的な活用により、将来世代との負担の公平化を図っています（市債は単なる借金ではなく、分割払いで償還することで世代間の負担を公平にする役割があります）。

## 全項目で健全化基準をクリア

市本体の健全性を示す4つの健全化判断比率では早期健全化基準を下回り、公営企業の健全性を示す資金不足比率においても経営健全化基準を下回っています。

| 指 標    | 健全化判断比率              |                   |                             |                            | 資金不足比率                  |
|--------|----------------------|-------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------|
|        | 実質赤字比率               | 連結実質赤字比率          | 実質公債費比率<br>(3カ年平均)          | 将来負担比率                     |                         |
| 説 明    | 財政規模に対する一般会計などの赤字の割合 | 財政規模に対する全会計の赤字の割合 | 財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合 | 財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合 | 公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合 |
| 令和6年度  | 赤字なし                 | 赤字なし              | 0.1%                        | 実質的な将来負担なし                 | 資金不足なし                  |
| 令和5年度  | 赤字なし                 | 赤字なし              | 0.8%                        | 実質的な将来負担なし                 | 資金不足なし                  |
| 国が示す基準 | 早期健全化基準              | 11.52%            | 16.52%                      | 25.0%                      | 350.0%                  |
|        | 財政再生基準               | 20.0%             | 30.0%                       | 35.0%                      | —                       |
|        |                      |                   |                             |                            | 20.0%<br>※経営健全化基準       |

### 借りる

※残高は各年度末の実績値

### 市債残高の推移

計画的な市債発行を行っています

単位：億円



市債とは、学校や福祉施設など長期間にわたって多くの市民が利用する施設を整備する際などに、政府・地方公共団体金融機構・銀行などから調達する長期の借入金です。

一般会計・特別会計を合わせた市債残高は、市民会館・市公民館の改修や小中学校のトイレ改修のための借入などにより約101億円となり、前年度末より約12億円増加しました。

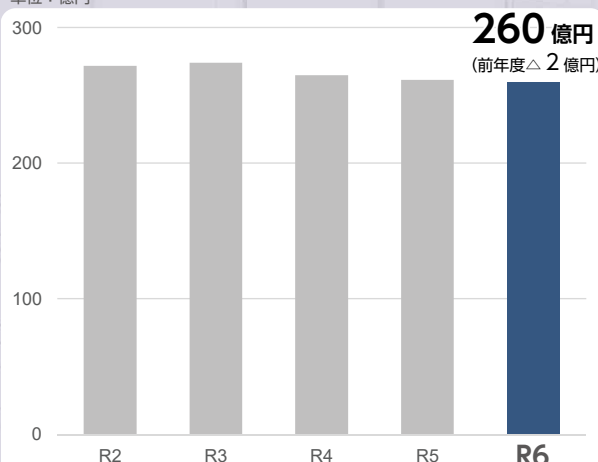
### 貯める

※残高は各年度末の実績値

### 基金残高の推移

計画的に積み立て・取り崩しを行っています

単位：億円



基金とは、特定の目的のために積み立てることで、後年度の財政負担を軽減し、計画的な財政運営を行うための貯金です。

目的別に積み立てた全ての基金の合計残高は、主に米野小学校改築や市民会館・市公民館整備のための取り崩しなどにより約260億円となり、前年度末より約2億円減少しました。